

# 令和2年度 第1回全校研究会

## I 研究主題

「主体的な姿」を目指した授業づくり（2年計画の1年次）  
～単元・題材構想シートと個別の評価シートの活用を通して～

## II 設定の理由

本校では、学校目標を平成30年度より「仲間とともに 今を主体的に」と掲げ、教師主導ではなく児童生徒主体の教育活動を行っている。研究推進においても、児童生徒一人ひとりが「今」、いきがい、やりがい、手応えを感じられる授業を目指し、授業づくりや授業改善を行ってきた。

令和元年度研究では、【研究仮説】を「学びに向かう力，人間性等」（主体的に学習に取り組む態度）を目指す授業づくりを行うことで、他の2つの柱「知識及び技能」（知識・技能）や「思考力，判断力，表現力等」（思考・判断・表現）が身に付くだろうとし、取り組んだ。仮説に伴い、研究主題を『「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を位置付けた授業づくりを目指して～主体性を育むための単元・題材構想シートを通じた授業づくり～』とした。また、主に対象児童生徒に対する手立て・支援あるいは改善案の検討を行った平成30年度の単元・題材構想シートを発展させ、単元・題材全体の設定理由と単元・題材終了後の振り返り・改善点について授業グループで検討した他、授業づくりの視点(岩大附属特別支援学校版 別項X参照)を用いた授業づくり・授業改善を行った。授業づくりの過程において、対象児童生徒に対する主体性を主軸に授業構想を考えるようにはなったが、仮説を検証する手段が不明瞭であったこともあり、仮説を立証するには至らなかった。

一方で、授業担当者単位の小グループで研究を推進したこと、また、話し合いツールとして単元・題材構想シートを使用したことが、全職員が授業づくり・授業改善を意識するようになる機会になり、次年度の教育活動につなげることができた。その意味においては大変有益な研究推進方法であったことが立証された。

令和2年度研究では、過去2年間の研究を引継ぎ、発展させ、令和2年度の研究仮説を立証したいと考えた。研究を進めるにあたって気を付けていきたいと考えていることは次の2点である。1点目は、研究対象として授業を作っていく過程では、本時や一単元だけにとどまらず、他の単元とのつながり、また年間を通しての単元構成をも念頭においた計画・実践とすること。2点目は対象児童生徒の将来の姿を描きながら、今、どのような授業展開をすべきかについて検討を重ねること。伴って、対象児童生徒の変容を具体的に記し、評価につなげること。ひいては、次年度の授業計画にもつながるような研究にしたいと考えた。

## III 研究の目的

- (1) 仮説である【「学びに向かう力，人間性等」（主体的に学習に取り組む態度）を目指す授業づくりを行うことで、他の2つの柱「知識及び技能」（知識・技能）や「思考力，判断力，表現力等」（思考・判断・表現）】について、実践を通して検証する。
- (2) 年間計画～単元計画～授業計画の構成や全体目標・個別目標等、授業づくり・授業改善についてPDCAをより明確に行い、授業担当者間で検討・共有する。年間を通して見えてきた改善案については次年度の授業に生かす。
- (3) 対象児童生徒について、年間目標～前期目標～単元目標を授業担当者間で検討・共有することを通して、目指す主体的な姿について、どのような授業づくりをすべきか迫及する。

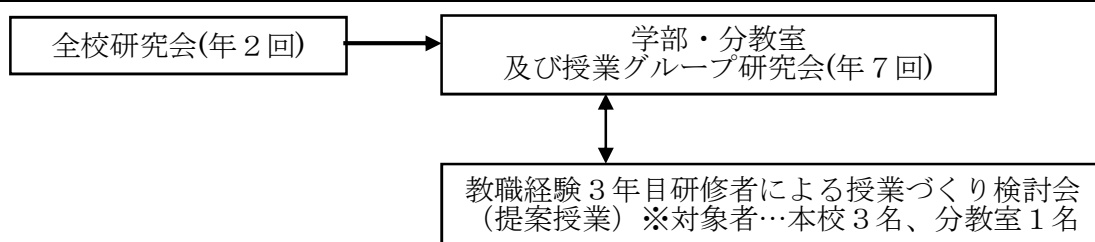
#### IV 研究内容・方法

- ・ 2年次計画のもと推進する。
- (1) 授業グループを研究グループに位置付け、授業計画～目標設定、児童生徒の個別の目標について検討する。目標設定時は、その授業で目指す「主体的な姿」について、学部目標や新学習指導要領をもとに設定する。また、授業づくりの際には、「授業づくりの視点」(岩大附属特別支援学校版 別項X参照)を念頭に置く。
- (2) 授業実践における児童生徒の活動の様子を担当職員が中心となって具体的かつ端的に記録していく。教職員・講師それぞれ1名以上の児童生徒についてまとめる。(授業の展開によっては、記録する職員または児童生徒が複数名になる場合もありうる。)
- (3) 授業実践後あるいは、単元・題材の一区切りがついたとき、前期、後期の授業を終える時期などタイミングを見計らいながら、活動の様子(記録)を持ち寄り、活動の様子から導かれる評価が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のどの部分にあたるかをグループ内で検討し、仮説を検証する。
- (4) 主体的な姿について、年間を通して、授業実践を振り返り、当初に設定した主体的な姿との妥当性の検証と、学部や授業としての今後の方向性を導く。また、次年度の生活のテーマや年間指導計画につなげる。

#### V 研究推進計画

1年次 (令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学部・研究対象授業で目指す主体的な姿を検討、授業を通して検証。</li> <li>・年間を通し、個々の目標と評価を検証し、仮説の妥当性を検討。</li> <li>・年間の授業実践を振り返り、次年度の単元・題材年間計画を立案。</li> <li>※授業グループおよび学部を超えた授業参観を行い、授業づくりの一助とする。(授業参観週間を設定)</li> <li>※ステップアップⅡ研修会に授業提供を行い、校外教職員からの意見を聞き、研究に反映させる。</li> <li>※1年次の経過については第2回全校研で報告及び意見交換を行う。</li> </ul>	各学部 授業グループ
2年次 (令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次で検討・検証した各学部・研究対象授業で目指す主体的な姿をもとに、授業づくり・実践</li> <li>・小学部～中学部、中学部～高等部、あるいは学年への繋がりを意識した授業実践</li> <li>・1年次同様、個々の目標と評価を検証し、仮説の妥当性を検討。</li> <li>・まとめと考察</li> <li>※授業グループおよび学部を超えた授業参観を行い、授業づくりの一助とする。(授業参観週間を設定)</li> <li>※開かれた授業研究会及びステップアップⅡ研修会にて授業提供を行い、校外教職員からの意見を聞き、研究に反映させる。</li> </ul>	各学部 授業グループ

#### VI 研究組織

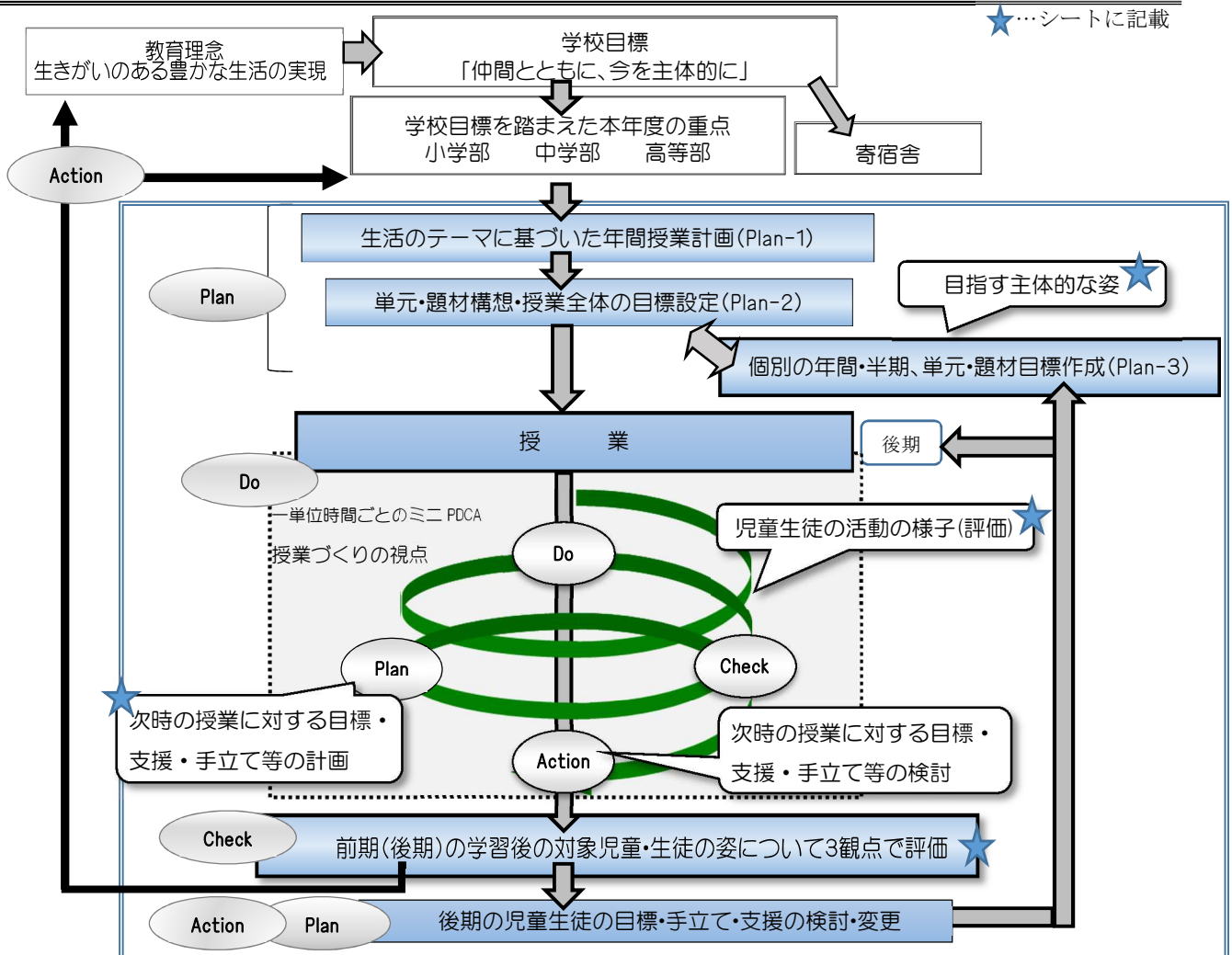


## VII 研究授業および研究授業に関わる授業研究会について

教職経験3年目研修者に提案授業を行ってもらい、授業研究会を開催する。授業日前には、授業参観週間(仮称)等を設定して実際の授業を参観する機会を設け、全員が参観できるような体制を作る。研究会は、学部職員以外の参加も可とし、連続性や一貫性を意識した授業づくりの一助とする。

なお、提案授業のビデオ録画を、小中学校の特別支援学級担当2年目対象者研修(ステップアップ研修会)の研修として提供し、参観者から助言をいただく機会を持つ。全体研究に関わるような内容については、後日、全体に周知する。

## VIII 研究構想図



## IX 検証について

児童生徒の「主体的に取り組む姿」について目標立て、その目標に向かって授業実践を行った際の児童生徒の様子から、前期・後期の評価を導く。評価内容が「知識・技能」「思考・判断・表現」をも導かれるものであったかどうか、グループ内で検討し検証とする。

× 資料等

(1) 進め方

① 単元・題材に関する全体計画

年間指導計画から単元・題材構想をグループで検討・確認

Plan-1 年間指導計画(例:作業学習)

月	時数	関連	単元・単元名 (児童生徒に授けられるもの)	学習内容 (単元・単元名)	場の設定・日・教科・職員 (職員への対応)
4	6		カレンダー一冊の作成を行う	・カリエンタージョン(教員紹介、目録や約束書) ・週刊の各務と使い方 ・各作業工程を知る(原稿、インク付け、印刷)	・活動の場を指定 ・作業工程に児童が対応する
5	10		・じまんな市に向けて製品を作る 次(卒業のほがき)	・じまんな市の日時や自機印刷枚数の確認 ・印刷作業 ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
6	70	○	・こたままつりに向けて製品を作る 次(卒業のほがき)	・印刷準備(原稿の修正) ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
7	12		・印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備(原稿の修正) ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
8	6		・印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備(原稿の修正) ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
9	14	○	・こたままつりに向けてお客さんに喜ばれる製品を作る	・印刷準備(原稿の修正) ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
10	56		・印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備(原稿の修正) ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
11	12	○	・印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備(原稿の修正) ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
12	14		・印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備(原稿の修正) ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
1	6		・印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備(原稿の修正) ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
2	4		・印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備(原稿の修正) ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
3	0		・印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備(原稿の修正) ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
計	124.0				

Plan-2 単元・題材構想・授業全体の目標設定(年間)

単元名(月・時数)	小単元・学習内容	全員に対する支援 場の設定・日・教科・職員
単元1 カレンダー一冊の作成 (4月~6月)	1.メンバーについて知る、年間の流れ、製品を知る 2.作業工程を知る、(やってみよう) 3.班の目標や約束を知る。	T:過去の製品を紹介 年間の流れを紹介 B:作業工程毎に道具を配置する。
単元2 じまんな市に向けて製品を作る (6月~7月・76h:校内実習含む)	・印刷準備(デザイン描き、紙づくり等) ・じまんな市の日時や自機印刷枚数の確認 <印刷作業> ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	T:じまんな市までの目標枚数を提示 T:毎時限の目標と出来高を確認し、全員が見える所に掲示する。 B:グループ毎にお互いの様子が見える配置にする。 K:準備カード、チェック表、日計ボード、出来高表 T:品に作業する仲間

①年間指導計画から書き写すグループで学習内容について検討

② 個別の目標他検討

- A. 目指す主体的な姿(年間目標)
  - イ. 前期目標、単元・題材名 ※目標は通知表とリンク
  - ウ. 単元ごとの個別目標
  - エ. 手立て・支援
- をグループで検討

Plan-3 個別の年間・半期・単元・題材目標作成  
授業の記録

個別の評価シート			
教科名	作業学習	学習グループ	カレンダー班
学年	中学2年	班	1年
ア. 目指す主体的な姿(年間目標)			
イ. 前期目標			
単元・題材名	ウ. 個別目標	エ. 手立て・支援	エ. 手立て・支援
単元1 じまんな市に向けて製品を作る (4月~6月)	・カレンダー一冊の作成 ・週刊の各務と使い方 ・各作業工程を知る(原稿、インク付け、印刷)	・活動の場を指定 ・作業工程に児童が対応する	・活動の場を指定 ・作業工程に児童が対応する
単元2 じまんな市に向けて製品を作る (6月~7月・76h:校内実習含む)	・印刷準備(デザイン描き、紙づくり等) ・じまんな市の日時や自機印刷枚数の確認 <印刷作業> ①印刷準備 ②印刷作業 ③印刷準備(原稿の修正)	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定	・印刷準備の場を指定 ・印刷作業の場を指定 ・印刷準備の場を指定
中略			
前期 観点別の評価	「児童の活動の様子(授業の記録)」 「児童の活動の様子(授業の記録)」 「児童の活動の様子(授業の記録)」		

③ 授業

単元・題材の授業を通して、児童生徒の様子・変化を具体的に、担当者中心に記述 → 繰り返し

④ 観点別評価

授業を通して、記載した児童生徒の様子・変化を見取り、グループ内で、どの観点別なのか話し合い・評価。  
※評価を通知表に書くときの、参考に。

⑤ 授業の振り返り・改善点検討

単元や前期の終わり、年間の終わりに授業の振り返り・改善点をグループで検討



4 新学習指導要領の方向性(資料：文部科学省「学習指導要領改訂の方向性(案)」)

